

1 ホームページの改定

Q. ホームページを改定しようと考えているが、どのようにHPを改定すればよいか？

要旨 ホームページでは、企業情報や商品情報を最新化し、発信することによって、24時間・365日働く優秀な営業パーソンとなり得ます。自社ホームページを改定する予定の企業においては、費用対効果を考え、全面改定する以前にやるべきことをお伝えします。全面改定を行う場合には、制作を依頼する企業に対して更新すべき情報と固定の情報を分けて考えてもらうようアドバイスします。

解説

1. ホームページの開設目的を定める

ホームページを開設した後の成果は何か？を決めなければなりません。新規企業からの商談受付なのか？資料送付依頼の受付なのか？もしくは、ホームページで商品を販売したいのか？

目的によって、見て欲しいターゲットが異なります。現在のホームページは、何が目的だったのでしょうか？まずは、取引企業に確認して頂くことが最初となります。

2. ホームページの情報最新か？スマートフォン対応はしているか？を確認する

ホームページの「News」や「お知らせ」を見れば、情報の最新化が一目で分かります。また、手持ちのスマートフォンで、取引企業のホームページを見て下さい。見た目、パソコンから見た画面と同じであれば、スマートフォン対応していないことが分かります。全てを改定するとなれば、コストもかかります。まずは、情報の最新化を行い、かつスマートフォン対応にして頂くことが必要です。

3. ホームページを全面改定する場合、業者任せにしない

全面改定する場合、前述したように、ホームページの目的を明確化する必要があります。投資をする訳ですから、リターンは何か？を意識しなければなりません。また、最低でもスマートフォン対応は必要です。そして、更新すべき情報と、固定の情報を分けて考えてもらうようアドバイスする必要があります。更新すべき情報は、会社からの定期的な情報発信、そして提供商品やサービスが定期的に変わるようであれば更新情報となります。企業概要は大きく変わりませんので固定の情報となります。更新情報に該当するものについては、できれば自社で変更できるシステムを搭載するように伝えて下さい。そのほか、全て自社でホームページを作れるクラウド型のホームページ作成ツールもありますので、費用対効果を検討することも重要なポイントです。

ホームページの開設目的を確認し、業者任せにしない

＜ご提案のポイント＞

- ・ 自社ホームページを作られたときの目的（目標）を確認し、目的が達成できているのかを確認することが重要です。
- ・ 改定する前に、現在のホームページの情報が最新化されているのか？できていないのであれば、最新化します。情報の最新化されていないホームページは、逆効果です。またスマートフォン対策は、現在の普及率から考慮すると必須です。
- ・ 全面改定する場合は、費用対効果を必ず意識することが重要です。

1. ホームページの目的は何だったか？を確認する

ホームページを過去に作った時、集客数の UP や、新規取引先の開拓等の、目的があったかと思います。むやみに改定するのではなく、現在のホームページは目的を達成できたかどうか、まず確認を取るべきです。もし、達成できていない場合には、その課題を解決するための方策の一つとして、ホームページの改定を選択してはどうかと伝えます。

2. 改定する前に、やるべきこと

ホームページの全面改定には費用がかかります。改定の前に、費用を最低限に抑える方法が二つあります。一つ目は、最新情報の更新です。ホームページは企業や店舗の最新情報を得るために、存在します。しかし、1年以上も更新されていないようでは成果は出ません。写真や文字情報、企業からのお知らせ等、最新情報に変更します。変更の際してホームページの制作を依頼した会社が費用請求される場合は、自社で更新できるようプログラム搭載するよう一度オーダーしてみて制作会社からの反応を確認してください。二つ目に、スマートフォン対応が実施されていない場合は、対応頂くよう依頼してください。サイト閲覧を行うデバイスの7割以上が、スマホであるという統計があります。

3. 改定する場合に、制作会社に依頼すべきこと

現在のホームページを全面改定する場合に、制作会社に以下のポイントを伝えます。

- ・ 改定によって得たい結果（問合せ数の UP、知名度の UP、直売上の UP 等）
- ・ 頻繁に情報更新するページには、自社で変更できるようプログラムを搭載
- ・ スマートフォン対応の実施
- ・ 閲覧履歴を把握するための解析ツール（無料の GoogleAnalytics で可）を装着

費用が高すぎて改定できない場合、自社で作ることも可能ですので、クラウド型のホームページ作成サービスも検討してみてください。代表的なものは、「JIMDO」<https://jp.jimdo.com/>、「ぺらいち」<https://peraichi.com/> があります。